

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 咬合誘導としての矯正治療

演者名 前田明浩

日 付 2008年6月24日

keywords

1. 咬合誘導
2. 非抜歯矯正治療
3. アンテリア・ガイダンス

抄 録

成人患者でアンテリア・ガイダンスの欠如が原因の1つとなって臼歯部咬合崩壊の進行を来していると思われる症例を数多く見かけます。

しかし、成人患者でアイデアル・プランとはいえアンテリア・ガイダンス確立のための矯正治療を受け入れてくれる方はほとんどいません。

そこで現実的に可能なのは子供の頃から歯列や咬み合わせを管理していく咬合誘導だと考えます。

子供の定期検診を通じて早い時期から咬み合わせの管理も行うことで、できるだけ非抜歯での矯正治療を目指しています。

今回は左上1番がほぼ垂直に唇側に向かって埋伏していた8才の女の子の第1期矯正治療の症例を呈示すると共に、当院における咬合誘導に対する考え方も述べさせていただきたいと思います。

皆様からの御指導・御意見等宜しく願います。